

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 野球・駅伝特別強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 競技スポーツ課 競技スポーツ係 電話番号：058-272-1111(内2644)

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 11,598 千円 (前年度予算額： 11,595 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	11,595	0	0	0	0	0	0	0	11,595
要求額	11,598	0	0	0	0	0	0	0	11,598
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

特に県民の注目度の高い「高校野球」と「駅伝」について、県内の強豪校や優秀選手及び代表選手にターゲットを絞った強化事業や、優秀選手の発掘・育成など、独自の強化プロジェクトを推進する。

(2) 事業内容

- 「高校野球」強化プロジェクト
 - ・ 優秀ナイン発掘、育成事業
 - ・ 高校野球強化アドバイザー派遣事業
 - ・ 指導者研修事業
 - ・ 高校野球強豪校強化支援事業
- 「都道府県対校駅伝」強化プロジェクト
 - ・ 強化指定選手選考事業
 - ・ 岐阜県プロジェクト記録会
 - ・ 高地トレーニングエリア合宿
 - ・ 都道府県駅伝競走強化事業

(3) 県負担・補助率の考え方

特に県民の注目度の高い「高校野球」と「駅伝」の2種目について、岐阜県独自の強化策を実施するものであり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	196	
委託料	11,402	
合計	11,598	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例13条
- ・第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

(2) 後年度の財政負担

強化プロジェクトにより、指導者の強化をはかり、中・高一貫指導体制の確立を促進し、他団体の参考となりモデル事業とするため、引き続き継続していく。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

高校野球では、この5年間（R5～R9）で、甲子園優勝を目指します。
都道府県対校駅伝では、令和9年までに15位を目指します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H16)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①都道府県対校 駅伝男子順位	32位	24位	15位	15位	15位	—
②都道府県対校 駅伝女子順位	37位	35位	15位	15位	15位	—

○指標を設定することができない場合の理由

高校野球については、目標の達成を示すものが優勝であり、数値で示すことができない。

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	(1) 「高校野球」強化プロジェクト	
	・中学生軟式野球強化練習会	令和2年 6月 6日(土) ～令和2年 6月28日(日)
	※県中体連選抜選手が参加	
	・リトルシニア強化練習会	令和2年 8月14日(木)
	・ボーイズ強化練習会	令和2年 9月 5日(土) ～令和2年11月14日(土)
	・リトルシニア強化選手選考会 (中学2年生)	令和3年 2月27日(土)
	・ボーイズ強化選手選考会 (中学2年生)	令和2年11月～12月
	・中学生軟式野球科学サポート (含む硬式体験練習会)	3年生：令和2年11月 1日(日) 2年生：令和2年11月22日(日)
	・中学生硬式野球化学サポート (含む強化練習会)	令和3年 1月11日(日)
	(2) 「都道府県対校駅伝」強化プロジェクト	
	・駅伝強化プロジェクト会議	令和2年 8月21日(金) 令和2年10月24日(土) 令和2年11月15日(日) 令和3年 3月17日(水)
	・高地トレーニングエリア強化合宿	コロナにより中止
	・都道府県駅伝事前合宿、試走	コロナにより中止
	・岐阜県ナイター記録会	令和2年10月24日(土)
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

令和 3 年度	(1) 「高校野球」強化プロジェクト	
	・中学生軟式野球強化指定選手選考会	令和3年4月～5月下旬
	※県中体連選抜選手33名を選出	
	・大学生との合同練習会 (ボーイズ・リトルシニア)	
		令和3年 7月27日(火)
	・リトルシニア強化練習会兼選考会	令和3年 8月22日(日)
	・ボーイズ強化練習会兼選考会	令和3年10月 2日(土)
		～令和3年10月10日(日)
	・ボーイズ強化選手選考会 (中学2年)	令和3年11月～12月
	・中学生軟式野球科学サポート	令和3年11月27日(土)
	(含む硬式体験練習会)	
	(2) 「都道府県対校駅伝」強化プロジェクト	
	・駅伝強化プロジェクト会議	令和3年 7月 3日(土)
		令和3年 8月10日(火)
		令和3年11月30日(火)
		令和4年 2月24日(木)
	・高地トレーニングエリア強化合宿	令和3年 8月10日(火)
		～令和3年 8月13日(金)
	・都道府県駅伝事前合宿 (年末)	令和3年12月27日(月)
		～令和3年12月29日(水)
	令和4年 1月 4日(火)	
	～令和4年 1月 5日(水)	
・都道府県駅伝事前合宿 (試走)	令和4年 1月 7日(金)	
	～令和4年 1月 9日(日)	
・岐阜県ナイター記録会	令和3年10月10日(日)	
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %		

令和4年度	(1) 「高校野球」強化プロジェクト	
	・中学生軟式野球強化指定選手選考会 ※県中体連選抜選手30名を選出	令和4年4月～5月下旬
	・中学生軟式野球強化練習会	令和4年 8月 9日(火) ～令和4年11月13日(日)
	・ボーイズ強化練習会兼選考会	令和4年 9月 3日(土) ～令和4年10月10日(月)
	・中学生軟式野球科学サポート	令和4年11月19日(土)
	・リトルシニア強化練習会兼選考会	令和4年12月17日(土)
	・中学生硬式野球科学サポート	令和5年 1月21日(土)
	(2) 「都道府県駅伝」強化プロジェクト	
	・駅伝強化プロジェクト会議	令和4年 5月21日(土) 令和4年 7月 3日(日) 令和4年 9月17日(土) 令和4年11月29日(火) 令和5年 2月24日(金)
	・高地トレーニングエリア強化合宿	令和4年 8月10日(水) ～令和4年 8月13日(土)
	・都道府県駅伝事前合宿 (年末)	令和4年12月26日(月)
	(年始)	～令和4年12月28日(水) 令和5年 1月 4日(水) ～令和5年 1月 5日(木)
	・都道府県駅伝事前合宿 (試走)	令和4年12月26日(月) ～令和4年12月28日(水)
	・長距離強化拠点事業	岐阜・西濃地区 25回実施 中濃地区 26回実施 東濃地区 24回実施 飛騨地区 24回実施
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	高校野球や都道府県対抗駅伝での活躍は、県民に活力を与えるものである。また、中学・高校・大学・社会人の枠を超えた一貫指導体制を構築しているため、各関係団体への支援を拡充させる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	目標を上方修正した平成25年と平成27年には、選抜大会ベスト8という結果を収めるが、それ以降は春夏共に1・2回戦敗退が続いた。しかし、令和元年の夏大会でベスト4という結果が出たことや、岐阜県勢として4年連続の選抜大会出場決定など、中高連携のシステムの事業成果が出ているといえる。 駅伝は全国レベルの上昇に伴い、目標順位までなかなか到達しないが、県勢のタイムは着実に伸びている。合同練習の成果が中学生の競技力向上にもつながっており、今後の成果が期待できる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	年度初めのプロジェクト会議で事業内容と目標を確認し、各組織間の意思統一が図られているため、年間を通じた強化策が無駄なくスムーズに実施できている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 高校野球については、全国大会で勝ち上がるためには、他地区の強豪校の戦力を分析し、その分析を生かした戦い方が必要であり、レベルの高いチームの分析をすることで、指導者のレベルアップも図られる。 また、1チームに複数の有力投手を育成することも課題としており、今後も球質測定器を活用した科学サポートなどを継続し、投手の育成に力を入れていく。 駅伝については、長距離指導者の不足が一番の課題である。駅伝強化スタッフだけでなく、選手の日常をサポートする指導者の指導力向上や、指導者間の交流・共通理解が課題である。	
--	--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 高校野球と都道府県対抗駅伝は、全国中継され、県民の注目度が特に高く、これまでも県民の方々から、成績についてのご意見やご指摘をいただいている。そこで、中高生を対象とする高トレ活用や全国大会派遣を拡充させ、中高生の競技力向上を目指す。また、県外流出をくい止めるとともに、県内で育った選手が県の代表として全国で活躍できるベース作りを継続していく必要がある。	
--	--